助成･寄付寄贈報告

※　三井様より　みつばちの子どもたちへ絵本の寄贈
※　マックスバリュ東海様より　ギフトカード 32,800 円分（除菌・衛生用品を購入）
※　ラインライバー親びん様より　1 万円（施設の子供たちへのお菓子を購入）　　皆様に厚く御礼申し上げます

研修会･講演会のご案内

◆ **定期研修会「Be サポ事例研究会」**

研修内容は、原則、奇数月に成人事例のアセスメントを中心としたもの、偶数月に子どもの事例検討を行っています。参加者の皆様とさまざまな意見を出し合いながら、その人らしさを理解し、今後の支援の在り方や方向性を一緒に考えていきたいと思います。

日時：原則、毎月第 3 水曜日 18：30～21：00　　場所：プラサヴェルデ沼津（※変更の際にはご連絡いたします）
参加費：Be サポ会員無料、非会員 1,000 円／1 回
参加資格：心理士、スクールカウンセラー、支援員、教員など、守秘義務を課せられた専門職の方が参加できます。
初めて参加される方は Be サポートまでご連絡ください。
今後の予定：6/15, 7/20, 8/17, 9/21, 10/19, 11/16, 12/21
（コロナの影響で中止・変更の可能性がありますのでご了承ください）
※この研修会は、臨床心理士資格認定協会の資格更新ポイント（定例型）の申請を予定しています。

Be サポート業務一覧

相談・カウンセリング事業
カウンセリング、プレイセラピー、EMDR、各種心理検査

医療・保健・福祉・教育等 地域機関への協力
母子保健事業（乳幼児健診・発達相談・療育教室）
：伊豆市・伊豆の国市・清水町・長泉町
教育委員会（就学支援・特別支援教育・巡回相談）
：函南町・清水町・伊豆市・長泉町
市民メンタルヘルス相談　：　伊東市・富士市
県および市町主催ゲートキーパー養成事業
高校スクールカウンセラー・学校支援心理アドバイザー
看護学校スクールカウンセリング
NPO 法人静岡犯罪被害者支援センター
社会的養護関係施設第三者評価事業

被災者支援事業
東日本大震災被災者支援活動「OHANA」

不登校・ひきこもり支援事業
沼津市　：　東部圏域　居場所「なごみ」（県委託事業）
伊豆市　：　伊豆圏域　居場所「とっこ」（県委託事業）

企業・事業所への支援事業
メンタルヘルスカウンセリング
企業研修会への講師派遣

研修・啓発事業
専門職対象の定期研修会開催
一般市民対象の講演会開催

児童発達支援事業
障害児・者総合サポートセンターみつばち
----------沼津市----------
保育所等訪問支援　／　児童発達支援「あんず」
放課後等デイサービス「かりん」
----------伊豆市----------
みつばち伊豆　放課後等デイサービス「みかん」

相談支援事業
指定計画相談支援・指定障害児相談支援「び～さぽーと」

Be サポート会員募集中

NPO 法人とは、利益を目的とせず社会や地域のニーズを追求し応える活動を行う団体です。臨床心理士を中心とした有志で Be サポートを設立しました。専門的な視点から地域のさまざまなこころの問題に取り組んでいます。現在、正会員 51 名、賛助会員 2 名（2021.4 月末時点）で活動しております。

私たちの活動を応援してくださる会員さんを募集しております。会員の方へは会報誌の送付、研修会や講演会での参加費が優待されます。また地域で働く援助職の方には、ネットワークづくりとしても活用していただいております。会員のご登録をいただける方は Be サポート事務所までご連絡ください。

特定非営利活動法人 臨床心理オフィス Be サポート

クローバー通信

2022 年 6 月 10 日発行 Vol.29

NPO 法人 臨床心理オフィス Beサポート
〒4100056 沼津市高島町 29-11 盟萌ビル 201
Tel/Fax　055-925-1701
Mail　be-sapo@mail.wbs.ne.jp
HP　http://be2011.jimdo.com/
発行責任者　皆川行寛

- 新型コロナウイルス感染症対策として、Be サポートではすべての事業において「手指および室内の消毒」「常時換気」「マスク着用」「検温」等を実施しております -

第 11 回総会（書面評決）を終えて　　Be サポート理事　三須友恵

第 9 回総会から、新型コロナウイルス感染防止の観点から、書面評決の決議で総会を実施してまいりました。第 11 回総会も同様の形式で開催し、会員 49 名　書面評決 31 名　すべての議案が承認されました。新理事の就任も承認していただき、非常に心強く思っています。

第 11 回総会の機能としては、問題なく実施できました。けれども、何とも言えない物足りなさや寂しさを感じているのは，私一人ではないはずです。

日々忙しく法人の業務を行っているスタッフ、沼津と伊豆の障害児通所支援施設で子供たちの療育に心を砕いているスタッフ、ひきこもり居場所設置事業に携わっているスタッフ、同じ法人で同じ理念を共有し働いているにもかかわらず、日常業務では、なかなかお会いして言葉を交わす機会がありません。会員になってくださっている皆様とも、それぞれの職場で孤軍奮闘されている様子など、個人的に伺うことや、間接的に耳にすることはあっても、直接お話しさせていただく機会はありません。

そういった方々とお会いできるのが、年に 1 回開催される総会や、そのあとに催していた親睦会でした。正直に申し上げると、始めの書面評決の総会は、日程の調整や会場の設営・懇親会の参加者の確認や会場の選択などの準備から解放され、安堵していました。しかし、継続的にそういった状況が続いている今、直接皆さんのお声が聴けないことを寂しく感じます。会員様からの要望や法人に期待することなど、改まった場ではなく親睦会という場所だからこそ、ざっくばらんにお話ししていただけたように感じています。

ネット環境が進み、非常に効率よく合理的に業務を進めることができるようになりました。しかし、その一方で他愛無い雑談を楽しむことが減ってきています。相手のことを知るためには、一見無駄と思われるような時間や会話が大切であると感じています。

来年度の総会は、皆さんとお会いする形で実施できますことを心より祈願しております。

みなさまのご寄付に感謝申し上げます !!

マックスバリュ東海様より「イオンしあわせの黄色いレシートキャンペーン」にて、32,800 円分のギフトカードをいただきました。お買い物をしたお客様が支援したい団体を選んで黄色いレシートを投函することで、レシートの合計額の 1%分の品物を寄贈いただける仕組みになっています。

イオン様、地域の皆様のご支援に心より感謝いたします。

LINELIVE（ラインライブ）を通してリスナーさんからいただいたポイントを福祉施設に寄付する活動をされている「**ラインライバー親びん**」様より、1 万円のご寄付をいただきました。

2 度目のご寄付となり、親びんさん、リスナーの皆様には大変感謝しております。施設の子ども達へのお菓子に代えさせてもらいました！

活　動　報　告

障害児・者総合サポートセンターみつばち「あんず」

あんずでは２才児さん３才児さんが増えました。制作活動に慣れていないお子さんも多く、楽しく興味を持ってもらえるように、春は絵の具を使った制作活動をしました。

５月に向けての制作では、好きな色の絵の具を選び、手のひらに絵筆で水彩絵の具をスタッフに塗ってもらい、ぺったんと紙に手形をとりました。かわいらしい手形が集まって、大きな大きなこいのぼりが壁面で泳ぎました。

６月に向けての制作では、元気に飛び跳ねるカエルさんを作りました。カエルさんが持つ傘は、ビー玉と絵の具でコロコロアートをして模様を付けました。コロコロアートは、箱の中に紙を置き、絵の具の付いたビー玉を、色を替えながらコロコロと転がして色付けするのですが、２才さんから年長さんまで楽しく集中して取り組んでくれました。

年長さんを中心とした曜日では、インタビュー活動をしています。人前に立って自分のことを話すことは簡単なことではないですが、繰り返すうちに少しづつ慣れて、上手になっていく姿が見られて、成長を感じています。

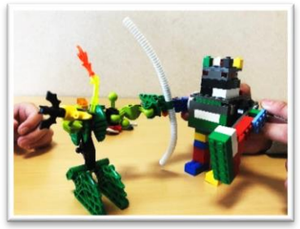
障害児・者総合サポートセンターみつばち「かりん」

子どもの放課後と私たち

春は“みつばち”から巣立っていった子ども、４月に入ってきた子ども達で、私たちスタッフは緊張したり戸惑ったりの日々でした。友達と話をすることや一緒に外遊びをすることがうまくできない子、自分の思いが言葉に出せなくてこまっている子、なかには周りの刺激に反応して大声を出したりする子もいますが、最近は子ども同士そしてスタッフとの関わりも余裕ができ、落ち着いた様子になってきました。

子ども達の様子は時間の経過とともに、「〇〇君変わったね」とか「皆と遊ぶようになったね」「宿題、今日は集中しているよ」「レゴでかっこいいロボットができたね」とうれしい話が多くなります。もちろん子どもとの関係でスタッフも悩むことがありますが、そんなときはお互いに相談し合い、新たな気持ちで対応しています。

子どもたちは何らかの生きづらさを抱えているのかもしれません。コロナ禍での生活の影響も少なくないでしょう。



そんなことを考えながら、子どもたちの興味関心、得意なこと、してみたいことを大切にしています。そのうえで子どもと向き合い、前向きな思いを確認することが重要だと思っています。

障害児総合サポートセンターみつばち伊豆「みかん」

４月に入り、みかんにも新１年生２名が新しい仲間として増えました。この２名は、就学前から伊豆市児童発達支援センターおひさまで、みかんのスタッフとの繋がりがあり、お子さんはもちろん、保護者の方も安心して利用してくださっているように感じます。

４月８日には、昨年度みかんを卒業した新中学１年生のお兄さんが、制服姿をお披露目に来てくれました。なんだか照れ臭そうにしている姿が初々しくもあり、頼もしくも感じました。今まで一緒にふざけて遊んでくれていたお兄さんの制服姿をみたみかんのお友だちは、少し恥ずかしそうに遠慮がちにしている姿も新鮮でした。何より、みかんに立ち寄ってくれたことがスタッフ一同とても嬉しかったです。

みかんの柱の１本には、子供たちの身長を記しています。４月にまたみんなの身長の傷をつけました。心身ともに伸び伸びと健やかに、素直で優しく成長していくお手伝いをしていきたいと思っています。

活　動　報　告

伊豆圏域の不登校ひきこもり支援　居場所「とっこ」

「とっこ」の活動場所は伊豆市生きいきプラザ、自然を感じる場所ですが、最近はホールがワクチン会場になっていたり、まん防で一時的に団体の利用が制限されたりと、世相も感じます。４月からは新しいスタッフが加わり、にぎやかになりました。コロナ対策をしっかり取りながら活動を続けています。

利用者さん達は自分の体調や気持ちの状態を見ながら上手に「とっこ」を利用してくれます。最近は新しく学生の方が加わり、見学しながら少し利用する方もいます。15分利用の方、２時間いる方、来られないけど来たいと言ってくれる方、皆大歓迎です。それぞれがのんびりとできる対応はどんなかなと一生懸命考えます。何気ない会話が弾むよう楽しい話題を探します。

現在の利用者さんは女性が多く、手仕事が好きなので、試作品に苦戦しながらのビーズアクセ、紙を折って作った切り紙、新生活に願いをこめたミサンガ、母の日に向けたフェルトのお花など、様々な小物を作りました。また3月には、外部から先生をお招きして藍染め教室をやりました。大勢の参加でにぎやかでした。各自が考えたデザインは見事に個性的で、先生にほめてもらって皆楽しそうでした。

これからも利用者さん達の歩みに寄り添えるよう、地域や関係機関との連携をとりながら、のんびりと進んでいきたいと思っています。

東部圏域の不登校ひきこもり支援　居場所「なごみ」

居場所「なごみ」は令和４年度も県からの委託を受けて運営することになりました。

居場所の利用者さんが少しずつ増えてきました。大人の男性が多く、部屋がだんだん狭く感じられるようになってきました。

今年度は外に出る活動もしようとプログラムを考えています。春になりだんだんと暖かくなってきたので、３月には、近くの高沢公園へお花見をしました。お花見と言えば、花見団子ですが、この日はお団子屋さんが閉まっていたので、たい焼きに変更しました。桜を愛でながらたい焼きを頬張りました。男性陣はあまり花をめでるという感じではなかったようですが、春の雰囲気を感じたひとときでした。

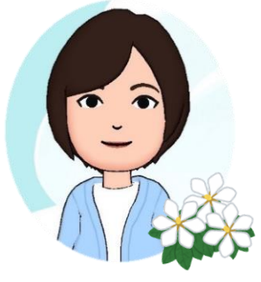
プログラムを決める時に、利用者さんの意見も取り入れることにしています。４月には利用者さんの要望で、一昨年行かなかった「びゅうお」に行くことになりました。お昼におにぎりと卵焼きを作って食べ、公共バスに乗って、沼津の街並みを見ながら沼津港湾に出かける予定でした。当日天気が不安定だったのですが、利用者さんからは「行きたい」という意見があがり、外出を決行としました。ある利用者さんは手慣れた手つきでだし焼き卵を作ってくれました。別の利用者さんは初めてのお米とぎとおにぎりに挑戦しました。バスの時間に間に合うようにと急いでおにぎりとだし焼き卵を食べて沼津駅に向かいました。

残念なことにこのあと天候がさらに悪くなってしまい中止となりましたが、これからも利用者さんの意見を聞きながら、みんなで「なごみ」を運営していきたいと思います。

新しくBeサポート理事が就任いたしました

このたび新たに理事に就任いたしました、臨床心理士／公認心理師の 池谷（いけのや）と申します。

現在、Be サポートでのカウンセリング・心理検査業務、放課後等デイサービスかりんでのスタッフ業務を担当しております。

地域でのお仕事として、小中学校の巡回相談（発達面の相談や検査）、児童発達支援センターでの発達検査、看護学校での学生相談なども務めさせていただいています。

今後も、地域の皆様のお役に立てるよう努力してまいります。ご指導・ご支援のほど、よろしくお願いいたします。